

混合交通を観察する
DOCUMENT EYE series—238

ライダーとパッセンジャーの服装を観察する



ある日の午後、気になる実際の交通状況を観察してみました

ライダーとパッセンジャーは正しい服装で走行しているか？



Q1

長袖を着用していたライダーとパッセンジャーは何%いたでしょうか？

- 観察場所／東京都目黒区大橋2丁目
- 観察日／7月15日(木曜日)
- 天候／晴れ
- 観察時間／16:20～17:30
- 観察者／4名



軽装のライダーが目立つ

Q2

ヘルメットを正しく着用していたライダーとパッセンジャーは何%いたでしょうか？



Q3

半袖・半ズボン・サンダル履きのライダーを目撃！何が危険だと考えられるでしょうか？

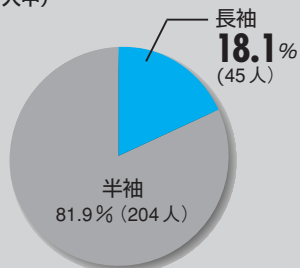
ヘルメットのあごひもが緩い状態

実際の観察から

解答・解説

Q1の解答：18.1%

●上着 (249人中)

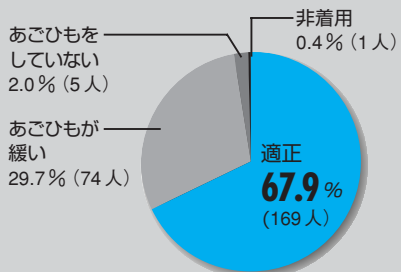


		原付	大型スクーター	スポーツタイプ	小計
上着	長袖	16	9	20	45
	半袖	94 (2)	62 (7)	48 (2)	204 (11)
ズボン	長ズボン	82 (1)	42 (1)	61 (2)	185 (4)
	半ズボン	28 (1)	29 (6)	7	64 (7)
グローブ	着用	12	11	40	63
	非着用	98 (2)	60 (7)	28 (2)	186 (11)
ブーツ (くるぶしが隠れる靴)	着用	10	10	21	41
	非着用	100 (2)	61 (7)	47 (2)	208 (11)

()内はパッセンジャー数

Q2の解答：67.9%

●ヘルメット (249人中)



		フルフェイス	ジェット	スリークォーター	ハーフ	小計
ヘルメット	適正	36	72 (1)	5	56 (2)	169 (3)
	あごひもが緩い	6	26 (2)	5	37 (6)	74 (8)
	あごひもをしていない	0	2	0	3	5
	非着用	0	1	0	0	1

()内はパッセンジャー数

- この日の東京の最高気温は31.4℃と真夏日を記録。ほとんどが半袖のTシャツやタンクトップなど普段着の軽装のまま走行していた。
- 長袖の場合でも、ライディングジャケットの例は少なく、ゆったりとしたシャツを羽織っている人が目立った。中には、Yシャツの袖をまくり半袖にして走行するビジネスマンも見られた。
- サンダル履きで走行するライダーも複数いた。また、女性ではスカートで乗車している例もあった。
- 上着、ズボン、グローブ、ブーツとすべての服装がしっかりとしている例の多くは、バイク便などの職業ライダーだった。
- ヘルメットは、ほとんど全員が着用していたが、あごひもが緩い例が目立った。ヘルメットを頭から外し首の後ろにある状態で走行する人もいた。



片手運転のライダー。パッセンジャーも半袖など軽装の人が多く

Q3の解答：

- 素肌の露出の多い服装だと転倒など万一場合に、ケガの程度を軽減する効果がない
- 日焼けや風による影響を受けやすく、疲労につながる



夏でも長袖、長ズボンできちんとした服装のライダー

ここがポイント

- 軽装になりがちな夏場でも、保護性の高い、長袖、長ズボン、グローブ、くるぶしの隠れる靴を着用するなど安全性を考慮し装備に気をを使う
- ヘルメットは必ず着用し、あごひもをきちんと締める
- パッセンジャーもライダーと同様に安全性を考慮した服装を心がける

ワンポイントDATA

正しい服装

- ①ヘルメット：必ず「SG規格・PSCマーク」の付いたヘルメットを着用。きちんとアゴひもをしめる
- ②ジャケット・プロテクター：目立つ色で、保護性が高く、ハンドル操作を妨げない長袖ジャケットを着用。肩やひじなど所要所にパッドが入っているものが理想的。いざという時のために身体を守るプロテクターの着用がおすすめ。夜間走行する際は、反射材入りのものを選ぶ
- ③グローブ：手の動きを妨げないものを着用。摩擦に強い皮製のものベスト
- ④パンツ：ジーンズや皮製などの長ズボンで、縫製、素材がしっかりとしたものを着用する
- ⑤シューズ：くるぶしの隠れるかかとのある靴を選ぶ

